

共生

黒木隆之 書

2025.10
October
No.50

【巻頭言】介護福祉施設の人材不足と外国人雇用への制度的課題と展望 <P1>

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会 副会長 西丸 晴彦

【御挨拶】副会長就任にあたって <P2>

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会 副会長 市田 英児

【トピックス】

- ・久木元会長、全国経営協 副会長就任 <P2>
- ・第44回 全国社会福祉法人経営者大会 <P3>
- ・鹿児島国際大学寄附講座・第1回 社会福祉法人会計研修 <P4>
- ・青年経営者部会 <P5>
- ・かごしまおもいやりネットワーク事業 法人等連絡会 <P6>
- ・会員法人による地域へのアクション <P8>

教えて!保育部会!! <P7>

【連載企画】学福連携プロジェクト I UK×経営協 Vol.10 <P9>

アイユー ケー バイ ケイエイキョウ

産官学協働の「ソーシャルデザイン×福祉」への挑戦

学校法人津曲学園 鹿児島国際大学 福祉社会学部 社会福祉学科 准教授 川崎 竜太 氏

【寄稿文】仲間と共に築く、地域に愛される福祉 <P10>

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会 青年経営者部会 副会長 山添 佐依子 氏

「御利用者といっしょに育てています！」障害者支援施設 つかわき(霧島市)

【8月上旬の豪雨・台風12号の被害に遭われた法人の皆様へ】

この度、8月上旬の豪雨・台風12号にて被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

被災された法人の、御利用者様・御家族様、職員の皆様の御無事並びに一日も早いサービス提供体制の復旧、被害に遭われた地域の復興をお祈りいたします。



みんなの「生きる」を
社会福祉法人

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会



【巻頭言】

「介護福祉施設の人材不足と外国人雇用への制度的課題と展望」

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会 副会長 西丸 晴彦



我が国の介護福祉施設は、急速な高齢化に伴い需要が拡大する一方で、人材不足が深刻化しています。

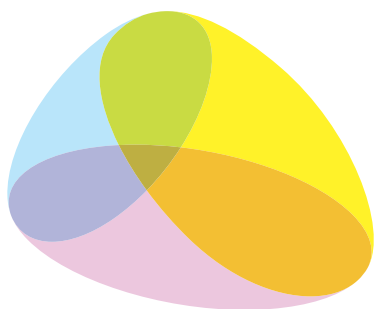
長時間労働や夜勤の負担、給与水準の低さが若年層の参入を妨げ、離職率の高さが現場を疲弊させています。この構造的問題は施設単独の努力では解決が難しく、国や自治体による制度的改革と財政的支援が不可欠です。

まず、不可欠なのは介護職員の処遇改善です。介護報酬の引き上げや処遇改善加算の拡充を通じ、労働に見合った給与体系を確立することが急務です。

また、職員が将来像を描けるよう研修制度やキャリア形成支援を整備し、業務のICT化や介護ロボット導入を補助することで、働きやすい環境を政策的に後押しする必要があります。

さらに、人材不足を補うため外国人材の活用は避けて通れません。技能実習や特定技能制度により多くの人材が介護現場を支えています。現行制度は一時的な労働力供給にとどまり、長期的定着を阻んでいます。日本語教育の支援、住居や生活基盤への補助、永住や家族帯同の道筋を明確化するなど、外国人が「地域社会の一員」として安心して働ける制度設計が求められます。

介護は「人の尊厳を支える公共性の高い仕事」であり、その持続可能性は国家の責務です。処遇改善と外国人材の定着支援を両輪とし、地域社会との共生を促す政策を組み合わせることで、介護現場の基盤を強化できます。行政が明確なビジョンを示し、現場の声を反映した制度改革を着実に進めることこそ、安定した福祉国家の実現に繋がるのだと思います。



みんなの「生きる」を
社会福祉法人

久木元会長 全国経営協 副会長に就任！

6月6日（金）に、全国社会福祉協議会にて「全国社会福祉法人経営者協議会 令和7年度 第1回 協議員総会」が開催されました。

令和7年度は、全国社会福祉法人経営者協議会の役員改選期であり、この度、本会の久木元会長が、全国社会福祉法人経営者協議会 副会長に就任しました。

久木元会長は、全国社会福祉法人経営者協議会 副会長就任にあたり「当面の最重点課題として、物価高騰や賃金上昇への対応に報酬改定を含めエビデンスを示し、微力ながら社会福祉の発展のため職責を果たしてまいります。」と述べました。



↑ 所信を述べられる久木元会長

県保育連合会会長の交代に伴い県経営協副会長の交代がありました。

【御挨拶】 副会長就任にあたって

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会 副会長 帯田 英児
(鹿児島県保育連合会 会長)



この度、鹿児島県社会福祉法人経営者協議会の副会長を拝命いたしました、帯田 英児です。

少子高齢化や人材不足、そして新たな制度への対応等社会福祉を取り巻く環境は、本当にたくさん課題を抱え、複雑さを増しています。しかし、こんな時代だからこそ、私たち社会福祉法人が力を合わせ、地域や皆さんの未来に対し、もっと前向きな提案ができるはずだと信じています。

今後は、これまでの活動に加えて、福祉の魅力を発信するための「人材」、地域とのつながりを深める「地域」、日々の仕事を効率的にする「DX・ICT」、そして、しっかりとした運営を支える「経営基盤」という4つの柱を大切に、幅広い視点で取り組んでいきたいと考えています。

また、鹿児島県保育連合会とも手を取り合って、子どもたちの未来を育むために、一緒にできることを探していきたいと思います。

『すべては、子どもたちのために。そして地域のために。』この温かい想いが、鹿児島の福祉を、そして地域を元気にする力になると信じています。

これからも、皆様のお力をお借りしながら、誰もが安心して笑顔で暮らせる社会を一緒に作っていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

第44回 全国社会福祉法人経営者大会が開催されました！！



9月18日(木)から19日(金)の日程で福岡県中央区にて、『第44回 全国社会福祉法人経営者大会』が開催され、全国から総勢1,400名を超える皆様が参加されました。

今回の全国大会は、開催地の福岡県をはじめとする、九州8県の経営協会長による九州ブロック実行委員会を構成し、九州各県青年経営者部会員の協力を得ながら参加者の皆様をお迎えしました。

全体会では、まず、九社連社会福祉法人経営者協議会の黒木会長（宮崎県経営協会長）より開会のあいさつを、全国社会福祉法人経営者協議会 磯会長、全国社会福祉協議会 村木会長、福岡県社会福祉協議会 酒見会長から主催者挨拶をいただきました。

次に、基調報告として全国社会福祉法人経営者協議会 磯会長から、まず、「10の要望書よりもエビデンスが重要」であること、「社会福祉法人の法人税非課税を堅持できているのは全ての社会福祉法人の努力の結果」であることが説明され、中でも令和7年5月の財務省財政制度等審議会において、「介護分野にばかり人材が集中するのは適切でない」など福祉分野への更なる処遇改善に慎重な意見が出されたが、他産業との賃金格差が開いていることは明らかであり、エビデンスに基づく緊急要望活動を展開したこと、また、骨太方針2025に介護・障害福祉分野等の公定価格の引き上げ等が閣議決定されたものの、年末までが勝負であり、会員法人の協力が不可欠であることが示されました。

また、久木元会長の進行のもと進められた、パネルディスカッションでは、登壇された厚生労働省 社会・援護局長から、社会福祉法人の処遇改善について当然に必要であること、社会福祉法人が無くなれば地域共生社会の実現は難しいことを念頭に、自然増する社会保障費を抑えつつ、骨太方針2025に記載された公定価格の引き上げや物価高騰対策の予算を確保するためにも、社会福祉法人経営が厳しい現状にあることを示すデータを提示することの重要性について説明がありました。

この他、各分科会において各テーマに沿った事例発表や歴史家・作家の加来 耕三氏による特別講演、世界獣医師会次期会長の藏内 勇夫氏による記念講演も行われ、大変、有意義な大会となりました。

来年度は、岐阜県にて、第45回 全国社会福祉法人経営者大会が開催されますので、ぜひ御参加ください。

寄附講座：「福祉専門職の生き方～福祉専門職になる皆様へ～」

7月25日（金）に、「鹿児島国際大学との包括連携に関する協定」に基づく寄附講座を鹿児島国際大学7号館1階教室にて実施し、講師として県経営協 青年経営者部会 山添副会長（幸伸会 法人本部長）に御登壇いただきました。



↑ 講話される山添青年経営者部会副会長

今回の寄附講座は、これから福祉専門職を目指す社会福祉学科の1年生を対象に実施され、まず、アイスブレイクとして山添副会長が現職に至るまでの経歴について話され、学生の気持ちに寄り添いながら、質問を多数投げかけ、対話型で進められました。

次に、高齢者分野の専門職として、社会福祉士、介護福祉士、相談支援専門員、看護師、理学療法士等を挙げ、『チームとなって御利用者様を支えること』を伝えられました。

また、入浴介助・ベッドから車椅子への移動介助の様子を動画で具体的に伝えながら、介護士の1日の流れや、季節感を味わえるイベントを開催する目的、幸伸会で取り組まれているDXの取組も御説明されました。

最後に、『毎日「ありがとう」を言われる、やりがいのある仕事は他にない！！』と地域に根ざす福祉現場の魅力・やりがいを熱く伝えていただきました。

令和7年度 第1回社会福祉法人会計研修を実施しました！

8月1日（金）に、鹿児島市のマリンパレスかごしまにて「第1回 社会福祉法人会計研修」をオンライン併用にて開催しました。

例年、県内の社会福祉法人における経理御担当者等を対象に、日々の実務向上を目的に開催しています。

今回は、第1回目として、経験年数が比較的短い初任者の職員の方等を対象に開催し、134名の方に御参加いただきました。



講師に上川路 美恵野公認会計士をお招きし、社会福祉法人が行う事業、社会福祉法人会計の特徴やルール・会計区分、各計算書類の説明に加え、体系的にどのように繋がっているかという事から給与支払い、雇用保険料・退職共済掛金等を例に挙げ具体的な仕分けのルールを御説明いただきました。

なお、**次回（第2回）の社会福祉法人会計研修は、11月28日（金）**に、「会計を経営に活かすための計算書類の読み方と経営分析」をテーマに第1回同様オンライン併用にて実施します。

また、**本年度も県社会福祉施設経営相談コーナー（P6参照）を設けております**ので、積極的に御利用ください。

【青年経営者部会】自民党青年局と意見交換をしました！



6月17日（火）に自民党鹿児島県支部連合会（鹿児島市真砂町）にて、自民党青年局主催により鹿児島県社会福祉法人経営者協議会 青年経営者部会との意見交換会が開催されました。

意見交換の内容は以下のとおりであり、瀬戸山青年経営者部会長から鹿児島県が全国で一番「福祉」が充実している県となれば、自ずと鹿児島県に移住する方・就労される方が増えると考えられることから鹿児島県が抱える福祉課題にぜひ取り組んでいただきたいと要望されました。

- 1 社会福祉法人を取り巻く現状について
- 2 外国人材の都市部への流出について
- 3 介護・障害・保育の現場における人材不足及び処遇改善について
- 4 重度心身障害者医療費助成制度の現物給付化（窓口無料化）について
- 5 障害者優先調達法における随意契約について

令和7年度 青年経営者部会第1回研修（総会時研修）を開催しました！

6月19日（木）に開催した令和7年度 第1回総会の終了後に青年経営者部会第1回研修をオンラインにて開催しました。

今回の研修では、生産年齢人口の減少が予想される中、人材確保・人材定着における福利厚生的重要性は今後の法人経営の最重要課題の1つであることから、株式会社ベタープレイス 大阪支社・福岡営業所の齋藤 建人氏を講師にお招きし、確定給付企業年金法に基づき発足した基金である「はぐくみ企業年金」について講演いただきました。

公的年金や確定拠出年金の基本考え方に加え、法人経営側からの視点や各法人に勤務される職員の視点からの「資産形成」についても学ぶことができました。

今後も、研修企画会議を開催し、青年経営者ならではの研修を開催いたします。



『青年経営者部会』から鹿児島の『ふくし』を盛り上げませんか！？

青年経営者部会では、県内の社会福祉法人に勤務する次世代を担う50歳未満の青年経営者、幹部候補職員等の資質向上を目的に、年4回の研修を行っており、講演内容や法改正、人材確保・育成を始めとした経営に対する悩み等についてワイワイ語り合う懇親の場も設け、同世代のネットワーク強化に繋がっています。

活動は、鹿児島県内に留まらず、九州・全国の志を同じくする仲間たちと絆をつくり、自身の研鑽にも役立っています。

青年経営者部会では、鹿児島の『ふくし』を一緒に盛り上げるべく皆様の加入をお待ちしております！！

入会はコチラから！



入会申込フォーム
年会費：20,000円

【かごしまおもいやりネットワーク事業】

霧島市社会福祉協議会にて、法人等連絡会が開催されました！

6月20日（木）、霧島市社会福祉協議会主催による、法人等連絡会が「まなびの会」をテーマに開催されました。

今回の法人等連絡会には、地域包括支援センター職員、社会福祉協議会職員、こども・暮らし相談センター職員、霧島市内の本事業加入法人職員の皆様が参加され、まず、事務局から、事業説明を行い、本事業を生活に困り事を抱える方への支援ツールの1つとして認識していただきました。



次に、『地域全体で課題に取り組む、連携を図る支援体制の構築』を目的に、ケース検討をグループに分かれて行いました。

本事業の『相談員』・『コミュニティワーカー』、相談者から本事業に繋ぐ立場等、様々な立場の方でグループが構成されていたため、1つの事例についても多様な視点から意見が出されました。

最後に、本事業に関する事や日頃の相談支援業務にて感じる事を自由に意見交換会するフリースタイルが設けられ、参加者の所属に囚われないたくさんの意見が出され、支援者間のネットワーク作りにも繋がる大変効果的な連絡会でした。

＜県社会福祉施設経営相談コーナーの御案内＞

県社会福祉施設経営相談コーナーでは、指導員を配置し、会計・税務のみならず、施設整備・人材確保、定款を始めとする諸規定や経営一般等、幅広く相談を受け付けています。秘密は厳守され、**相談は無料**ですので、ぜひ、お気軽に御利用ください！

相談内容の概要を記載いただき、FAXまたはメールで御提出ください。

◇ 専任指導員 1名

◇ 兼任指導員 1名 **税理士法人上川路会計所長（公認会計士・税理士）上川路 美恵野 先生**

【上川路 美恵野公認会計士プロフィール】

平成8年3月 東京大学経済学部経営学科卒業

平成10年10月 公認会計士二次試験合格 会計士補として上川路会計事務所に勤務

平成14年4月 公認会計士三次試験合格、税理士登録 上川路美恵野会計事務所開設

平成30年10月 税理士法人上川路会計 所長就任 現在に至る



【連絡先】 社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部
TEL:099-257-3855 FAX:099-251-6779
E-mail:shisetsu1@kaken-shakyo.jp



「教えて！ 保育部会！！」



「共生」No.48より、新企画として、経営協保育部会の先生方による子育て応援コーナーを始めました。今回は、子育てのお悩み第2弾です！！



Q. 3歳になる女の子です。

お店で、これが欲しいと大きな声で主張したり泣いたり、自分の思い通りにならなかった時の癇癪へどのように対応したら良いでしょうか。

質問者：mmさん

はい！そのお悩み、わたしたちがお答えします！

A. 子どもが自分の思い通りにならないとき、癇癪（かんしゃく）を起こしてしまうことがあります。特に公共の場、お店などで強く主張されたときには、周囲の視線が気になり、保護者の方もどう対応すればよいか戸惑ってしまうことも多いのではないのでしょうか。



癇癪を起こしたときは、まず子どもの気持ちを理解し、受け止めてあげることが大切です。

ただし、状況によってはそれが難しい場合もあるでしょう。そんなときは、まずお子様の動きに注意しながら、安全な場所を確保することを優先しましょう。そして、子どもが少し落ち着いてから、ゆっくりと話しかけてみてください。

その際、もし気持ちの切り替えができたなら、大いに褒めてあげましょう。保護者から認めてもらえたという安心感が、子どもの心を安定させる大きな支えになります。

また、**癇癪を未然に防ぐ工夫として、事前の声かけも有効**です。たとえば買い物に出かける前に「今日は〇〇と〇〇を買いに行く予定なんだけど、一緒に手伝ってくれる？」といった形で目的を明確に伝えることで、子どもの気持ちを切り替えやすくなります。癇癪はさまざまな場面で起こるものです。対応の仕方も、子ども一人ひとりの性格やその時の状況によって変わってくるでしょう。**大人も一度深呼吸をして、落ち着いて向き合うことが大切です。**お子様に合った対応方法を見つけていけるといいですね。

回答者：白崎保育園の先生方

子育てのお悩み、どしどしお待ちしています！！

新企画開始に合わせ、「相談申込みフォーム」を作成しました！
子どもの食事や成長等、子育てに関するお悩みがありましたら、
お気軽に右のQRコードからアクセスしてください。

「教えて！保育部会！！」
子育てお悩み相談コーナー
相談申込みフォーム



会員法人による『地域へのアクション』取材しました！

7月19日（土）に、霧島市国分にある障害者支援施設 つかわき（社会福祉法人 つぼみの会）が主催する「地域連携推進会議」が開催されたので、事務局も参加させていただきました。

この「地域連携推進会議」は、同法人が今まで地域の催しやイベントに参加しているが、より『地域に根差した法人』となるためにはどのように展開すれば良いか検討することを目的に開催され、同法人職員の他、御利用者の保護者、塚脇小学校長、塚脇公民館長、同法人内自治会の代表者2名（御利用者）が参加されました。



塚脇公民館長から、地域の高齢化が進んでおり、10年以内に75歳以上かつ独居世帯が約半数を占めることが予想されることから、敬老会でも祝う側の人が少ないことや地域の皆様と小学校が合同で開催する運動会のプログラムが少なく、年々寂しくなっていることをお話いただきました。

また、塚脇小学校長から、学校環境の整備や花植えを児童と一緒にして欲しいとの要望が出されました。

このような意見を基に、同法人に勤務されている特定技能外国人や地域の外国人労働者と地域の皆様が触れ合う機会を運動会のプログラムに加える事や公民館活動にも積極的に参加することが話し合われました。

この他、同法人が今後、災害避難所になる可能性を踏まえながら、継続してこの会議を開催していきたいとの説明の他、加入いただいている「かごしまおもいやりネットワーク事業」について『相談員』の副施設長様から広報いただきました。



←二毛作で栽培されるサツマイモ



←御利用者が育てているバラ

【皆様の事業所を取材させてください！！】

本会報誌「共生」に皆様の事業所を掲載させてください！！

【連絡先】

県経営協事務局 東平（ヒガシヒラ）電話番号：099-257-9885（直）,keieikyo@kaken-shakyo.jp



Vol.10『産官学協働の「ソーシャルデザイン×福祉」への挑戦』



学校法人 津曲学園 鹿児島国際大学
福祉社会学部 社会福祉学科 准教授 川崎 竜太 氏

この度、鹿児島県社会福祉法人経営者協議会会報誌「共生」に寄稿させていただくことになりました。鹿児島国際大学福祉社会学部社会福祉学科の川崎竜太と申します。

私は、2022年4月に鹿児島国際大学に着任いたしました。2009年から福岡県で大学教員のキャリアをスタートし、今年で17年目になります。福岡県、広島県の大学で研究や教育に従事し、前任校は、広島国際大学(広島県東広島市)で社会福祉士養成やフィールドワークに取り組んできました。主な担当科目は、「高齢者福祉論」「ソーシャルワーク実習」「ソーシャルワーク演習」等の学部教育に加え、大学院も担当しております。研究歴としては、社会保障制度や高齢者福祉等の制度研究を中心に取り組み、高齢者雇用や生活困窮者支援に取り組んできました。近年では、これまでの研究に加え、「ソーシャルデザイン×福祉」をテーマにして、学生と一緒に地域課題の解決に挑戦しています。社会福祉を志す学生らしい取り組みを模索しながら、地域の皆様や関係者、学生が笑顔になれるフィールドワークを目指しています。

私がソーシャルデザインに興味を持ち始めたのは、前任校(広島国際大学)での経験からです。広島で仕事をしていた時に、それまでかかわることがほとんどなかった業種の方々と仕事をする機会をいただきました。他業種との出会いは、自分自身の教育やフィールドワークについて改めて考える機会になりました。その時の経験から、産学官連携に積極的に取り組むようになりました。学生にとって、学ぶ機会を得ることは重要な意味を持ちます。4年間という学生生活は長いようで短いので、限られた時間で充実した経験が積めるように、ゼミを中心に、社会福祉法人や企業、行政と連携したプロジェクトを実施しています。主な活動として、オプシアミスミでの防災に関するイベント、自治体で実施する防災講座、鹿児島市喜入町でのフィールドワークなどに取り組んでいます。

今後は、ゼミ活動を通して、「社会福祉の魅力」を多世代の方々に伝えられるように魅力の創出と発信に努めていきたいと考えています。微力ですが、鹿児島県社会福祉の発展に貢献できるように尽力いたしますので、鹿児島県社会福祉法人経営者協議会の皆様のご協力をいただけると幸いです。社会福祉士養成だけでなく、様々な場面でお世話になる機会があると思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

<寄稿文>

「仲間と共に築く、地域に愛される福祉」



社会福祉法人 幸伸会 法人本部長

山添 佐依子 氏

このたび、鹿児島県社会福祉法人経営者協議会青年経営者部会の副会長を仰せつかりました。まだまだ学ぶことの多い身ではありますが、この機会を通じて多くの方とつながりを持ち、共に成長していければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

私が所属しております社会福祉法人幸伸会は、鹿児島県鹿屋市を拠点に、特別養護老人ホームをはじめ、デイサービスセンター、グループホームなどを運営しています。創立から三十一年、地域の皆さまに支えられながら今日まで歩んでまいりました。去年は三十周年の節目を迎え、「地域に愛される法人へ」という思いを改めて共有いたしました。利用者さまやご家族にとって、いつでも身近で安心できる存在を目指しております。

施設には、長年地域で暮らしてこられた方々が多く利用されています。日々の生活の中で「その方らしさ」を大切にすることを心がけ、歌や踊りが好きな方とは職員も一緒に声を出して盛り上がるなど、生活の中にその人らしい瞬間を散りばめています。こうした時間が私たちのやりがいにつながっています。

また、職員同士も明るく支え合い、笑い声の絶えない職場であることが、法人の大きな強みであると感じています。

さて、社会福祉法人全体を取り巻く環境は年々変化しており、高齢化や人口減少、人材不足といった課題が山積しています。当法人では人手不足の解消に向け、ICTや介護ロボットを積極的に導入しています。

例えば、当法人では14名の技能実習生・特定技能実習生が活躍しておりますが、言葉の

壁を補うために音声入力で記録できるアプリを導入し、安心して記録業務を任せられるようになりました。また、夜間には「眠りスキャン」を導入し、巡視回数を軽減するとともに、心拍数や呼吸数を可視化することで看取り期や急変時にも落ち着いた対応ができるようになっています。これらの取り組みは職員の体力的・精神的負担を軽減し、サービスの質の向上にもつながっています。今後もさらにICT化を進めていきたいと考えています。

私は、同じ立場にある皆さまと「悩みや工夫を共有できる場」を育てていきたいと思っています。ICTの活用や人材育成など、新しい挑戦は一人では難しくても、仲間と一緒にあれば乗り越えられることがたくさんあります。学び合いながら次の世代へとつなぎ、鹿児島の福祉をさらに元気にしていきましょう。皆さんとの出会いを楽しみながら、互いに刺激を受け合える関係を築いていきたいと願っております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



社会福祉法人 幸伸会 ラポール青山荘

〒893-0014

鹿屋市寿3丁目12-11

TEL：0994-45-6975

【おしらせ】 第13回 鹿児島県経営者大会を開催します！

第13回 鹿児島県経営者大会を下記日程で開催いたしますので、ぜひ、御参加くださいますようお願いいたします。

【第13回 鹿児島県社会福祉法人経営者大会】

日 時：令和7年11月25日（火）10時30分から16時45分まで

会 場：城山ホテル鹿児島 5階 ルビー（鹿児島市新照院町41-1）

< 開催内容 >

【基調講演】

演 題：「企業シニア層の福祉分野への期待

～これまでの福祉とこれからの福祉～（仮題）」

講 師：日本社会事業大学社会福祉研修センター 客員教授 蒲原 基通 氏

（元厚生労働省事務次官）



【記念講演】

演 題：「温もりと笑顔の中で ～臨床僧侶の経験から～」

講 師：浄土真宗本願寺派善福寺 住職 長倉 伯博 氏

（南日本新聞「人生相談 すいもあまいも」御担当）



【特別講演】

演 題：「逆境から始まる新しい福祉」

講 師：石川県社会福祉法人経営者協議会 会長 雄谷 良成 氏

（社会福祉法人 佛子園 理事長）



お知らせ

今後予定している行事は以下のとおりです。※開催時期や会場、開催方法は変更する場合があります。

月	日	行事名	会場・開催方法	主な内容等
10	20	自民党鹿児島県支部連合会との意見交換会	自民党県連ビル	—
11	25	第13回 鹿児島県社会福祉法人経営者大会	城山ホテル鹿児島	—
11	28	第2回 社会福祉法人会計研修	マリンパレスかごしま	計算書類の読み方と経営分析
11	未定	県知事への要望及び関係部課長との意見交換会	県 庁	—
12	10	九社連社会福祉法人経営者協議会 役員会	サンロイヤルホテル	—
12	11	九州ブロック社会福祉法人経営青年会セミナー	ホテル・レクストン鹿児島	—
12	未定	制度改正対応等研修	奄美市	—

発 行 / 令和7年10月1日発行 共生第50号 発行人兼編集人 / 久木元 司

事務局 / 鹿児島県社会福祉法人経営者協議会

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7（県社会福祉センター内） TEL 099-257-9885 FAX 099-204-7085